



## 市内3事業所を消防 団協力事業所に認定

5月24日、消防団に入団している従業員に対して、消防活動を行いやすい環境を整備した3事業所を、消防団協力事業所として認定し、表示証を交付しました。

認定を受けたのは、帝人三原事業所



▲市長(左端)から表示証が手渡されました

(円一町一丁目)、幸陽船渠(幸崎能地二丁目)、三菱重工工業三原製作所(糸崎南一丁目)です。

この制度は、市内の事業所からの申請により認定するもので、従業員が、消防活動に出動する際の勤務上の優遇措置などで協力するものです。

交付式で五藤市長は、「安心・安全なまちづくりには、消防・防災活動に対する企業の協力体制が欠かせません。今後とも協力をお願いします」と述べました。

今後、協力事業所が増えるとともに、制度を通じて、地域の消防・防災力が向上していくことが期待されます。

## 防災会議を開催 災害に強いまちへ

6月10日、防災会議を開催しました。会議には、国や県の機関をはじめ、電気、ガス、病院、自主防災組織の関係者など42人が出席しました。

開会にあたり、五藤市長は「地域防災計画が、災害時に使いやすいものとなるよう審議するとともに、今後とも災害に強いまちづくりへの協力をお願いします」とあいさつしました。

会議では、地域防災計画の修正案の審議に加えて、東日本大震災を受けて、出席機関がこれまでに実施してきた、被災地への支援活動の報告が行われました。

また、大震災を教訓として、市で、新たに津波・高潮ハザードマップを作成し、配布する予定であるとともに、計画を見直すための地域防災計画検討部会を設置することを確認し閉会しました。



▲27機関で地域防災計画の修正案などを審議しました

## ラジオ体操のまち三原 啓発ロゴマークが決定

市では、健康みはら21計画の中で、ラジオ体操とウォーキングのまち三原のキャッチフレーズを掲げています。

このうち、ラジオ体操のまち三原をPRすることができるロゴマークを募集したところ、市内外から12点の応募があり、次のマークに決定しました。今後は、さまざまなイベントなどで使用していきます。



▲決定したラジオ体操のまち三原啓発ロゴマーク

作者 居関孝男さん(京都市)  
作品の説明

三原の「み」をアレンジして、元気にラジオ体操をする子どもを表現しています。笑顔とラフなタッチから親しみやすさ、全体の円の形から市民の輪を思い描きました。

### 夏期巡回ラジオ体操

#### みんなの体操会

とき 8月15日(月)  
ラジオ体操 5時30分 集合  
ところ

晴天時 白竜湖スポーツ村公園 総  
合運動場

雨天時 同公園 白竜ドーム

内容 巡回ラジオ体操の全国生中継放送  
体操指導 岡本美佳さん  
ピアノ演奏 加藤由美子さん

用意する物 動きやすい服装、飲み物、  
タオル、帽子、屋内シューズ(雨天時)

※希望者は直接会場へ。  
問い合わせ先 保健福祉課(☎084

8(67)6053)